

## 展示室1a 円空大賞の20年 ～コレクションでふりかえる

2021年11月27日(土)～2022年3月27日(日)

岐阜県の「円空大賞」は、郷土ゆかりの江戸時代の修行僧・円空の精神を受け継ぐ芸術家を顕彰する、芸術文化振興を目的とした賞です。円空仏の土着性・獨創性とその奥にある慈愛の精神に注目し、平成11年度に制定されました。

平成14(2002)年1月、岐阜県美術館を会場として「第1回円空大賞展」が開催され、6名の受賞作家の作品が紹介されました。以来、令和3(2021)年3月までに10回、凡そ2年ごとに受賞者が選ばれ、延べ55名1団体の業績が「円空大賞展」で紹介されてきました。

本展では岐阜県美術館コレクションの中から、20年の間に選ばれた円空大賞・円空賞等の受賞作家の作品をご紹介します。社会不安に揺れ動く今の時代に、素朴な祈りに裏付けられた円空の造形は、ますますその評価を高めていると言えます。岐阜県の誇るべき先人である円空に因み、「現代の円空」の創造性を軸として同時代藝術の様相をふりかえります。

※印は屋外彫刻。○印は2月6日(日)まで、●印は2月8日(火)から展示

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
かけひ ちゆうじ 筧 忠治 【第1回 円空賞】	(1908-2004)	○ 猫	1975	エッチング、紙
		● 自画像	1990	コンテ、木炭、紙
やまだ ひかる 山田 光 【第1回 知事賞】	(1923-2001)	消えゆく1	1978	陶(白化粧)
		こくとう まど 黒陶 窓	1981	陶(黒陶)、鉄
		ぎんてい よこ の 銀泥 横に延びるパイプ	1998	陶(銀泥)
まえだ じょうさく 前田 常作 【第3回 円空賞】	(1926-2007)	にんげんふうけい 人間風景 No. 12	1960	油彩、画布
かとう あきお 加藤 昭男 【第2回 円空大賞】	(1927-2015)	どこ 何処へ	1991	ブロンズ
いとう けいじ 伊藤 慶二 【第4回 円空賞】	(1935- )	HIROSHIMA— <sup>つち</sup> 土	1975-2005	陶(一部ワイヤー)
り うファン 李 禹煥 【第5回 円空大賞】	(1936- )	風より	1985	油、岩絵具、画布
		※ かんけいこう 関係項	1986	鉄、自然石
		※ 関係項	1987	鉄、自然石
		しょうおう 照応	2003	油、岩絵具、画布
こしみず すずむ 小清水 漸 【第2回 円空賞】	(1944- )	さぎようだい きり えだ 作業台—桐の枝—	1979	木(桐、桐)
		レリーフ '80-3	1980	木(桂)
		※ アアラトの舟 ふね	1992	銅、鉄、水、白大理石
おおたけ ゆういち 大嶽 有一 【第10回 円空賞】	(1949- )	Figure IX	1982	鉄
		Figure XVI	1984	鉄
あまの ひろお 天野 裕夫 【第2回 知事賞】	(1954- )	ティオティワ <sup>あ</sup> 垂カン	2002	石、ブロンズ
		※ パオバブ・ライオン	2002	陶、ブロンズ
さとう まさひろ 佐藤 昌宏 【第9回 円空賞】	(1954- )	ち 地のいきもの	2017	テンペラ、画布
はやし たけし 林 武史 【第6回 円空賞】	(1956- )	※ た ひと つきみだい 立つ人—月見台	2010	安山石